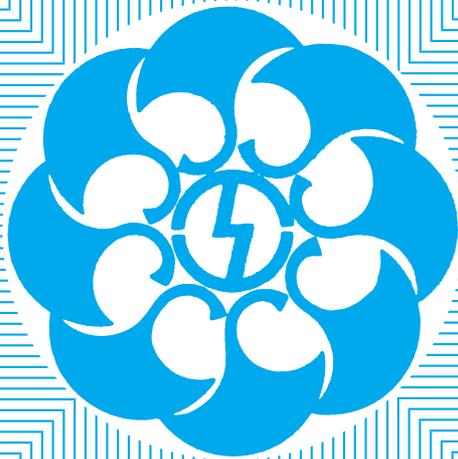


会報



社団法人 神奈川県空調衛生工業会

第102号



目 次

(社)日本空調衛生工事業協会第15回全国会議を米子市で開催	1
(社)日本空調衛生工事業協会平成20年度関東支部総会を茨城県東茨城郡大洗町で開催	2
定例理事会議事報告(7月・9月・10月)	3
公立工科・工業高等学校現場実習生の受入れを実施	渉外委員会 3
平成20年度研修見学会開催(東芝キャリア(株)掛川事業所)	渉外委員会 4
平成20年度前期経営幹部研修会開催	研修委員会 6
平成20年度技術研修見学会開催(株)山武 藤沢テクノセンター	技術委員会 7
横浜市まちづくり調整局主催による防災訓練行われる	安全委員会 8
神奈川県県土整備部主催による震災訓練行われる	安全委員会 8
横浜市優良工事表彰式	9
当工業会「横浜市社会福祉協議会会長感謝状」授与	9
当工業会後援「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」の開催	10
親睦会・新会員紹介・会員消息	11
編集後記	13

(社)日本空調衛生工事業協会 第15回全国会議を米子市で開催



平成20年10月23日(木)米子市「米子コンベンションセンター (ビッグシップ)」において、(社)日本空調衛生工事業協会第15回全国会議が開催され、全国から約300人の会員等が参加しました。

今回は、「空調衛生工事業の独自性の確立」を基本課題として、まず全体会議が行われ、(社)日空衛石田栄一会長の開会挨拶、国土交通省竹歳誠国土交通審議官の来賓挨拶の後、基調講演として、(財)建築保全センター審議役野村修氏から「入札・契約制度の動向と発注者への対応について」と題して講演が行われ、国では、入札契約制度の改革のため総合評価落札方式（・価格と技術提案その他の価格以外の要素について総合的に評価を行い落札者の決定をする。・入札に参加する企業の技術面での競争を促進し、技術開発の促進に寄与する。・談合やダンピングを防止し、健全な競争環境を実現する。・発注者にとって最良な調達を実現する。）を推進し、拡充してきた。また、評価の種類も簡易型、標準型、高度技術提案型と多様な類型に分かれるとともに、配置予定技術者の能力、企業の施行能力等についても評価項目の対象になるなど、発注者側の対応は複雑になってきており、企業側もその動向をよく把握しておく必要があるとの説明がありました。

続いて、基本テーマ「地球環境問題と地方中小空衛業者の活性化策」について、(社)日空衛高須康有常任理事を司会者に、国土交通省小澤敬市建設流通政策審議官、(株)日本設計佐藤信孝常務執行役員、(株)日新工業渡部正博代表取締役（道

空衛常任理事）、(社)日空衛大方了介中国支部長をパネリストにして、パネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは、討議に先立ち各パネリストからの意見発表がありました。

まず初めに国土交通省の小澤審議官から、「今後の建設産業政策の方向性について」と題して、建設産業を取り巻く状況（建設投資の急速かつ大幅な減少、過当競争によるダンピングの増加、価格競争の激化、鋼材、燃料油等の資材価格の急騰等）の説明があり、国土交通省として、「①適正な価格による受注のための施策②地域建設業緊急支援対策③適正価格での契約推進のため、予定価格事前公表の取りやめ等地方公共団体に対する緊急要請④分離・分割発注の推進」等の主要施策を講じているとの説明があり、また、建設業界としては、将来を担う優秀な技術者・技能者の確保・育成が喫緊の課題であるとの指摘がありました。

次に、渡部道空衛常任理事から、「北海道の空衛業界の現状、展望と課題」と題して、北海道の空衛業界は会員数の減少、完工高の減少、中堅企業の倒産等厳しい状況にあり、先の見通しも立たないなど窮状についての説明がありました。

また、日空衛に望むこととして、「①契約制度の研究と提言②生産性向上を目標としての、建築生産トータルでの工程管理の検討と提言③この業界で働く者が幸福であるための、労働環境改善に向けての努力と、実態と制度の乖離への対策」についての要望が出されました。

次に、(株)日本設計の佐藤常務執行役員から、「地球環境時代の新たなプロフェッション」ー環境・設備技術者の役割ーと題して、「①CO₂排出量の少ない環境建築、省エネシステム等の設計・施行②省エネ製品・システム・制御など技術開発への関与」等今後の設備技術者に期待される分野と社会的役割についての提言がありました。

次に、小澤審議官から、「地球環境対策に関す

る施策について」と題して、我が国における地球温暖化対策の現況と国土交通省における地球温暖化対策(目標)についての説明がありました。

最後に、(社)日空衛大方中国支部長から、建設業界を取り巻く厳しい現況と取り組むべき課題についての説明があり、また、行政へは「低価格入札の弊害を許さず」の姿勢を堅持し、一般

社会に対して徹底的に「啓蒙」「PR」をして欲しい旨の要望が出されました。

その後、パネリストと会場出席者間で熱心な意見交換が行われました。

当会からは、川本会長、清水・山本・中村副会長、大橋専務理事が出席しました。

(社)日本空調衛生工事業協会 平成20年度関東支部総会を茨城県大洗町で開催



平成20年11月13日(木)茨城県東茨城郡大洗町の「大洗シーサイドホテル」において、(社)日本空調衛生工事業協会平成20年度関東支部総会が開催されました。

総会は、開催県の(社)茨城県空調衛生工事業協会の海老根浩一事務局長の司会で始まり、初めに、関東支部長の(社)東京空気調和衛生工事業協会常博会長から挨拶がありました。

続いて、出席者の紹介の後、(社)茨城県空調衛生工事業協会の手面和夫会長を議長に選出し、議事に入り、まず、関東支部の事業報告を支部事務局の(社)東京空気調和衛生工事業協会 齊間孝一専務理事が行い、承認されました。

次に、本部報告が行われ、(社)日空衛坂山修平専務理事から、最近の日空衛の活動状況について説明がありました。

次に、次期総会を長野県で開催することを決定しました。

最後に、(社)茨城県空調衛生工事業協会の大津好問副会長の閉会のことばで総会を終了しました。

なお、総会終了後、国土交通省関東地方整備局の林部史明副局長から、「建設業をめぐる最近の状況」と題して、建設業のおかれた現状と様々な課題について、詳細な資料とデータに基づく講演が行われました。

また、総会・講演会終了後、懇親会が開かれ、まず主催者を代表して、茨城空衛の五十嵐裕治副会長から歓迎の挨拶がありました。続いて、是常関東支部長の挨拶、来賓としての橋本昌茨城県知事、長峯家光大洗町副町長の挨拶、また、同じく来賓として、国土交通省関東地方整備局の林部史明副局長、須田健介建設産業第一課長ほかの紹介がありました。

この後、石田栄一日空衛会長の乾杯に続き、懇談に入り、日空衛本部並びに関東支部を構成する1都7県・8団体の参加者約110名が情報を交換し、懇親を深めて散会しました。

当工業会からは、川本会長(副支部長)、山本・中村副会長、佐藤・築地・鈴木理事、大橋専務理事が出席しました。

定例理事会議事報告(7月・9月・10月)

7月定例理事会

平成20年7月11日(金)午後4時から第432回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 日空衛「関東支部総会」について

中村副会長兼総務委員長から、11月13日(木)に茨城県東茨城郡大洗町「大洗シーサイドホテル」で開催される日空衛「関東支部総会」について説明があり、川本会長から、当工業会として、正副会長、各委員長、専務理事の出席を求める発言があり、了承されました。

9月定例理事会

平成20年9月12日(金)午後2時から第433回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 日空衛「全国会議」について

中村副会長兼総務委員長から、10月23日(木)に米子市「米子コンベンションセンター」で開催される日空衛「全国会議」について説明があり、川本会長から、当工業会として、正副会長、専務理事の出席を求める発言があり、了承されました。

2. 江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑の支援について

中村副会長から、大橋専務理事に対して、「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」の支援について資料説明が求められました。

専務理事が資料により説明を行い、協議の結果、当工業会で演芸チャリティ笑の後援をするとともに、入場券50枚を横浜市社会福祉協議会に寄贈することで了承されました。

10月定例理事会

平成20年10月10日(金)午後2時から第434回定例理事会が開催されました。

その議事事項の要旨は次のとおりです。

1. 中間決算について

中村副会長兼総務委員長から、大橋専務理事に対して、中間決算について報告が求められました。

専務理事が資料により報告を行い、承認されました。

2. 12月定例理事会について

専務理事から、12月定例理事会について、12月12日(金)午後3時から「華正樓」本店で行いたい旨の説明があり、了承されました。

公立工科・工業高等学校現場実習生の受入れを実施 渉外委員会

新しい教育課程の取組みへの協力の中で、毎年、公立工科・工業高等学校からの生徒に対する「現場実習生受入れ制度」を実施していますが、昨年に引き続き、本年も会員会社4社のご協力を得て、神奈川県立藤沢工科高等学校からの実習生24名を受入れて実施されました。

現場実習にご協力いただいた会員各社

協力会員会社	実習生徒数
川本工業(株)	10名
山本電気水道(株)	5名
高砂熱学工業(株)	4名(※)
三沢電機(株)	5名

(※)
学校の都合で5名の予定が4名に

平成20年度研修見学会 東芝キャリア(株) 掛川事業所 渉外委員会



◎ 研修見学会に参加して
須賀工業株式会社 営業部 黒石宗敦

〔東芝キャリア株式会社 会社概要〕

本 社 東京都港区高輪3-23-17
 事業所 掛川事業所、富士事業所、
 津山事業所
 営業所 東北支社、中部支社、関西支社、
 北陸支社、中国支社、四国支社、
 九州支社
 グループ会社 東芝キャリア空調サービス(株)
 他14社
 主要製品 大型空調機(チラー)
 ビル用マルチ空調機
 家庭用・店舗用エアコン
 列車クーラー
 換気扇
 ヒーポン給湯器
 CC機器(冷凍機・冷凍装置)
 コンプレッサー・IPDU

〔掛川事業所 概要〕

主要建物 R&D棟、事務所棟、工場棟
 総建築面積 約6,500
 所在地 静岡県菊川市加茂1300-3
 竣工 1991年3月15日
 従業員数 55名

平成20年11月14日(金)から11月15日(土)の2日間にわたり(社)神奈川県空調衛生工業会渉外委員会主催の研修見学会に参加し、東芝キャリア(株)掛川事業所を訪問、見学させて頂きましたのでご報告致します。

今回の研修会は、最新の空調機器の特徴や環境技術を学ぶことにより、施工に役立てることを目的としております。

研修会当日は穏やかな小春日和の下、会員各社20名の方々が参加され、バスで横浜駅東口を出発、途中大きな混雑もなく11時過ぎには掛川事業所に到着し、東芝キャリア(株)の皆様の温かいお出迎えを頂きました。

掛川事業所のある菊川市は、甲子園優勝校の常葉学園菊川高等学校の所在地でもあり、事業所のまわりは茶畑の広がるとても美しいところです。

最初に東芝キャリア(株)神奈川支店 柏木支店長からご挨拶を頂き、続いて掛川事業所 若杉氏から事業所概要紹介がありました。

東芝キャリア(株)掛川事業所は、世界最大の空調機器メーカーであるアメリカ・キャリア社の日本法人東洋キャリア工業(株)の静岡事業所/中央研究所として平成3年に開設されました。東洋キャリア工業(株)は日本で初めてエアコンを製造した会社で、皇居に空調施設を納品、昭和7年には世界初の全列車冷房を受注するなどすばらしい経歴や実績を持つとともに、昭和58年に業界初の建築設備専門CAD設計センターを導入するなど先進的、積極的な事業展開をされている会社です。その後今年4月に、製造、販売、エンジニアリング、サービス各部門を一体的に運営していくために、東洋キャリア工業(株)、東芝キャリア(株)、東芝キャリア空調システムズの3社が統合し、現在は東芝キャリア(株)の大型空調部門の設計・研究開発拠点として、社会の要求に応えるべく地球温暖化防止に貢献し、省エネ省コストに繋がる次世代空調の開発に積極的に取り組まれているとのことでした。

ここで開発された最新機器が、今回研修でご説明頂いた「スーパーフレックスモジュールチラー (SFMC)」です。SFMCの主な特徴は、

- (1) モジュール連結方式で業界トップクラスの省エネ・省コストを実現
- (2) モジュール毎に分割搬入ができるので短い時間で容易に据付作業が可能
- (3) 独自の「Xフレーム」採用によりメンテナンス性が大幅に向上
- (4) モジュール連結方式により従来の機器に比べて省スペース化を実現
- (5) 大型チラーとしては初めて新冷媒R410Aを採用し、CO₂削減と省エネを両立

その他、東京電力(株)との共同開発製品で、省エネ大賞経済産業大臣賞を受賞し、平成20年度高効率空調機導入支援事業補助金制度対象機器でもあります。

気流解析から生まれた独自の矯態構造Xフレームにより、熱交換器の通風性能を大幅に向上しており、モジュール側面からの吸気を上部ファンから効率的に排気することで、複数のモジュールを連結した場合でも最適な気流分布を実現し優れた省エネ性能を発揮し、工場や大型商業施設、病院に採用されるケースが多いとのこと。

標準型に加えて高機能型のHiタイプ、リプレイス用のRタイプ、水冷式のWタイプ等、多くの仕様を有し、更に今年10月には従来と同じ筐体で冷房能力が1.6倍のVタイプを開発、更なる省スペース化・省エネ化・コストパフォーマンス

の向上を実現しています。

Xフレームの独自性のため筐体の強度確保や工場での生産性等多くの課題を克服しなければならなかったとのことですが、その優れた性能により、現在は生産が追いつかないほどの注文があるとのこと。

製品説明の後は、事業所及び実機見学とのことで、まずは研究棟にて環境試験室を見学しました。環境試験室は20t、60t、120tの3種類があり、様々な室内環境下において空調機の能力を試験するために使っているとのこと。次にSFMCや空冷式一体型パッケージエアコン「シングルエース」の実機見学をしました。当事業所の環境実験室用空調機を従来型空調機からSFMCに更新したとのこと。室外機置場を実際に見せて頂いたところ、既存空調機では3基の基礎が必要だったが、SFMCではそのうち2基のみの使用で済んでおり、SFMCの優れた省スペース性に驚きました。また、シングルエースは室外機と室内機を一体化することにより自由度の高い設置が可能となり、ファミリーレストランや室内機を設置するスペースがないような案件で採用されているそうです。

今回の研修に参加し最新機器の開発経緯や特徴等を学ぶことによって、最新機器の情報を常に勉強することの大切さを実感致しました。

最後になりますが、今回の研修会にご協力頂きました東芝キャリア(株)の皆様、また研修会開催にご尽力下さいました渉外委員をはじめ幹事の皆様方や関係各位に深く御礼申し上げます。



平成20年度前期経営幹部研修会 「元金融マンが教える金融機関と上手に付き合う法」で講演 研修委員会



川本会長 挨拶

平成20年度の前期経営幹部研修会が平成20年9月29日(月)午後2時から ホテル横浜ガーデンにおいて開催されました。

今回の研修会は、会員企業の経営に資するため、(株)建設経営サービス提携コンサルタント関口清氏を講師に招いて講演が行われ、(社)神奈川県電業協会からの参加も得て、39名が受講しました。

開講に先立ち、川本会長から主催者を代表して本研修会の意義等について挨拶があり、続いて関口講師よりテキストに基づく講演が行われました。

なお、本研修会は、横浜市の建設関連産業活性化支援事業に伴うアドバイザー派遣制度要綱第5条第4項の規程に基づくアドバイザー派遣事業に指定されています。

講演

テーマ

元金融マンが教える金融機関と上手に付き合う法

講師 (株)建設経営サービス
提携コンサルタント 関口 清 氏

内容 (概要)

建設企業にとって金融機関との付き合いは

切っても切れません。しかし、金融機関も大きな変革の時期を迎えました。バブル崩壊後の不良債権がアレルギーとなり、審査方法が財務諸表を中心とした格付け方式となったからです。そのため建設企業においても、金融機関の動向を把握しておく必要があります。

本研修は、銀行の支店長、シンクタンク研究員の経験のある講師が、現在の金融機関の状況について事例を交え分かりやすく解説しました。

(主な項目)

- 1 時代が変わる、金融機関が変わる
- 2 金融機関は何をもって審査するのか
- 3 企業格付けとは
- 4 支店長・融資課長との付き合い方
- 5 全国各地で進む地方金融機関の合併、統合



関口 清 講師

平成20年度技術研修見学会 ～(株)山武 藤沢テクノセンター～ 技術委員会



技術委員会主催の平成20年度技術研修見学会が平成20年9月26日（金）に藤沢市にある（株）山武 藤沢テクノセンターで実施されました。参加者は正会員19名（14社）、賛助会員4名（2社）、計23名でした。

（株）山武 藤沢テクノセンターは敷地面積29,377 に新技術棟・研究開発棟・実験棟からなり、今回は主にCASBEE（建築物総合環境性能評価システム）最高Sランクを取得した新技術棟（地上7階 延床面積17,911 ）を見学しました。

見学は初めに、事業所概要の説明、取り組んでいる環境・省エネ計画及び活動経過等の説明がありました。建設時の大きく3項目

- ①LCCO₂の削減20%
- ②CASBEE最高ランクSの認証取得

③自然防御、自然利用、資源・エネルギー有効活用及び環境の可視化の実現を目標設定されていました。

また、省エネとして9項目

- ①高効率熱源機器と氷蓄熱熱源
- ②自然エネルギーの利用
- ③台温度差送風、VAV等の採用などによる搬送エネルギーの削減
- ④高遮熱・高断熱ガラスの採用
- ⑤照明制御
- ⑥環境の可視可としてBEMSの導入
- ⑦雨水再利用
- ⑧温熱環境改善のための透水性舗装
- ⑨耐用100年計画の取り組み

がなされておりました。

この実践状況を新技術棟～研究開発棟～実験棟の順に説明を得ながら見学しました。そして、この取り組みによる大きな成果が出ていることも実感することができました。

今後も山武グループと工業会会員各社との技術協力などにより環境や省エネを配慮した建物を造っていきたいと思いました。

最後に、今回の技術研修見学会にご協力いただいた、（株）山武ビルシステムカンパニー、（株）山武 藤沢テクノセンターの方々にお礼を申し上げ、散会となりました。

（技術委員会 S・K記）



横浜市まちづくり調整局主催による防災訓練行われる 安全委員会



防災の日の9月1日(月)に先立ち、8月29日(金)に「横浜市公共建築物に係わる震災時の応急措置の協力に関する協定」に基づき、災害時の迅速な防災拠点の確保に向けた即時出動訓練が、横浜市と出動協定をしている建設5団体の横浜建設業協会、神奈川県建設業協会横浜支部、横浜市電設協会、神奈川県電業協会、当神奈川県空調衛生工業会の即時出動会員、バックアップ会員の合計261名が参加し、特に震災時の重要な拠点となり、中心的な役割を果たす区庁舎、消防署、病院等で実施されました。

横浜市指定の51施設のうち、今回は37施設を対象に訓練が実施され、当工業会からは、即時出動会員50名(23社)とバックアップ会員40名(38社)の合計90名(55社)〔※即時、バックアップ重複6社〕が訓練に参加しました。

当日は、出動者の参集確認後、施設管理者から設備の故障、漏水などを想定した被害状況が報告され、各所で安全点検、安全措置などの訓練を実施しました。

訓練は、各出動者の協力のもと滞りなく終了しました。本番さながらの訓練は、今後の対応の中で生かされるものと思います。

今回の防災訓練に参加し、ご協力をいただいた会員会社

◎ 即時出動会員 (25社)

(株)朝日工業社、エルゴテック(株)、神奈川東京冷機(株)、(株)金子工業所、川本工業(株)、(株)京浜設備工業所、興信工業(株)、(株)光電社、斎久工業(株)、三機工業(株)、(株)三冷社、(株)城口研究所、新菱冷熱工業(株)、正和工業(株)、第一工業(株)、(株)大気社、大成温調(株)、ダイダン(株)、(株)太陽設備、高砂熱学工業(株)、東洋熱工業(株)、(株)西原衛生工業所、日宝工業(株)、山本電気水道(株)、渡辺工業(株)

◎ バックアップ会員 (43社)

アトム冷熱工業(株)、カナレイ(株)、(株)清田工業、(株)康栄社、興和工業(株)、(株)小松工業、相模設備工業(株)、(株)サノセキエンジニアリング、三建設備工業(株)、(株)三晃空調、芝工業(株)、(株)昭和工業、神中工業(株)、新日本空調(株)、新菱冷熱工業(株)、須賀工業(株)、設備メンテナンス(株)、第一工業(株)、第一設備工業(株)、太建工業(株)、大成温調(株)、大成設備(株)、ダイダン(株)、(株)太陽設備、鷹羽工業(株)、中央設備エンジニアリング(株)、(株)司工事、(株)テクノ菱和、南海工業(株)、日新設備(株)、(株)日設、(株)ニッセツ、万里設備(株)、日比谷総合設備(株)、豊正工業(株)、三沢電機(株)、南設備工業(株)、(株)モリヤ総合設備、(株)ヤマト、山本電気水道(株)、(株)ヨコレイ、菱和設備(株)、(株)渡辺管工業

神奈川県県土整備部主催による震災訓練行われる 安全委員会

平成20年10月30日(木)に「神奈川県公共建築物に係る地震時の点検等の協力に関する協定」に基づき、大規模地震発生時の迅速な拠点施設の確保に向けた自動出動訓練が、神奈川県と出動協定をしている建設6団体の神奈川県建設業協会、神奈川県電業協会、神奈川県空調衛生工業会、横浜建設業協会、川崎建設業協会、川崎市空調衛生工業会から会員合計13名(9社)が参加し、特に震災時の重要な拠点となり、中心的な役割を果たす3箇所の土木・治水事務所を実施されました。

当工業会からは、指定された横浜治水事務所に出動会員3名(2社)が参加をしました。

当日は、出動者の参集確認後、施設管理者から設備の故障などを想定した被害状況が報告され、安全点検、安全措置などの訓練を実施しました。

今回の防災訓練に参加し、ご協力をいただいた会員会社

日宝工業(株)、三沢電機(株)

横浜市優良工事表彰式

横浜市の平成20年度優良工事表彰式が、平成20年11月5日(水)横浜シンポジアにおいて開催されました。

この表彰式は、横浜市が発注した工事を優秀な成績で施工した請負業者及び技術者の方々に対して、その業績を顕彰するために毎年行うものであり、請負業者表彰は今回で29回目、技術者表彰は2回目となります。

本年度の優良工事請負業者表彰には、設備部門が13社、建築部門が8社、土木部門が31社の合計52社が、また、優良工事技術者表彰には、設備部門が12名、建築部門が3名、土木部門が46名の合計61名が選ばれ、それぞれ各部門の代表者に中田宏市長から、表彰状が手渡されました。

当工業会会員からは、優良工事請負業者表彰で次の3社が、また、優良工事技術者表彰で次の4名の方が表彰されました。心からお喜び申し上げます。

優良工事請負業者表彰 [設備部門]

川本工業 株式会社 代表者 川本 守彦
株式会社 小松工業 代表者 小松 恵三
三沢電機 株式会社 代表者 三澤 漸

優良工事技術者表彰 [設備部門]

桑田 義行 (エルゴテック 株式会社)
織田 正巳 (興和工業 株式会社)
小堀 倫 (興和工業 株式会社)
近藤 博 (三沢電機 株式会社)

当工業会 「横浜市社会福祉協議会会長感謝状」授与

平成20年11月20日(木)に関内ホールで開催された「第28回横浜市社会福祉大会」で当工業会が社会福祉法人横浜市社会福祉協議会齋藤史郎会長から感謝状を授与されました。

当日は、川本会長の代理として大橋専務理事が出席しました。

横浜市社会福祉協議会から、「社会福祉協議会及び福祉施設・団体等の活動に協力援助された功績顕著な方々に感謝するため、会長顕彰を行っており、このたび当工業会の功績を讃え、表彰をすることになりました。」とのお話があり、昨年開催した当工業会設立40周年記念事業の「クリスマス ハートフル コンサート」を始め地域の福祉活動に取り組んでいる当工業会及び会員企業を評価していただきました。



当工業会後援 「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」



当工業会が後援（主催：Ken Planning第5回江戸紙切りバラエティ演芸チャリティ笑実行委員会）をした「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」が平成20年10月25日(土)午後1時30分から、横浜にぎわい座芸能ホールで開演されました。

当日は、横浜市社会福祉協議会をとおして県内の福祉施設の方々など50名を無料でご招待し、アマチュアの方々が演じた「ほのぼののパフォーマンス」、「落語」、「奇術」、「紙切り」を堪能していただきました。また、当日のプログラムには、川本会長の「ご挨拶」と当工業会の広告を載せてもらいました。



当日のプログラム



第5回江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑の開催に当り、後援をさせていただく社団法人神奈川県空調衛生工業会です。

当工業会は昨年設立40周年を迎え、記念事業としてクリスマスハートフルコンサートを横浜みなとみらいホールにて開催し、県内の

交通遺児・身体・知的障害者の方々や小・中・高校生など多くの皆様方に神奈川県フィルハーモニー管弦楽団演奏によるクラシックの世界を楽しんでいただきました。

空調、冷暖房、給排水、衛生、防災、環境等の設備工事を通して社会基盤整備の一翼を担う私達工業会会員の1社1社が地域に根ざした企業として、地域福祉に貢献すべき、お招きした皆様の心に残る柱（ハートフル）として行った記念事業でありました。

地域社会の発展に貢献する活動を展開。

技術と経営に優れ、信頼される企業集団。

当会は、神奈川県知事の許可公益法人で、県下の「空調衛生設備工事」を専門とする有力企業約100社の会員が集い、経営の向上、品質の確保等技術の研鑽に努めております。都市空間の居住性そして作業環境の快適化、省エネ等を含めた生産性の効率化を進め、さらには地球環境の保全を図り、地域社会への貢献を目指して活動しております。

- | | |
|--|---|
| <p>■沿革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和40年 2月26日 「神奈川県工業会」創立 ・昭和42年 9月26日 「神奈川県空調衛生工業会」設立 ・昭和42年12月26日 神奈川県知事から「社団法人」の許可を受ける ・昭和54年 5月28日 「社団法人 神奈川県空調衛生工業会」設立 ・平成11年12月20日 現在地(横浜市中区海岸通)に新会館完成 | <p>■目的</p> <p>当会は、設備工事(空調機、暖房機、給排水衛生、建築衛生等の建築設備工事)に関する調査研究及び指導を行い、技術の向上及び経営の合理化を図っております。さらに設備工事の適正な品質を確保することと、公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。</p> |
|--|---|

- 事業内容
- 当会の設立目的を達成するために、次の事業を行っています。
1. 設備工事の技術及び経営に関する調査研究
 2. 設備工事に関する知識の普及及び資料の頒布
 3. 設備工事に関する技術の向上及び経営の増進に寄与するための指導
 4. その他、設立目的を達成するために必要な事業



社団法人 神奈川県空調衛生工業会
 〒231-0002 横浜市中区海岸通4丁目18番
 TEL: 045-201-9336 FAX: 045-211-2477
 メールアドレス: info@shinkuei.or.jp
 ホームページ: http://www.shinkuei.or.jp

社会基盤整備は結局は地域社会の物作りの原点であります。私達工業会会員は、地域を理解し地域に理解され、物作りをしてまいりたいと考えております。

また、今後も地域に根ざした福祉活動を行っていく所存ですが、今回の「江戸紙切りtoバラエティ演芸チャリティ笑」においても後援させていただき、神奈川県空調衛生工業会の存在を広く知っていただくとともに、地域福祉の推進に少しでもお役に立てればと思っております。

親睦会報告

◎平成20年度前期ボウリング大会



渉外委員会主催の前期ボウリング大会が、平成20年9月18日(木)に若葉ハイランドレーンにおいて24名が参加して行われました。成績は次のとおりです。

優勝 清田 真弘氏
〔(株)司工事〕

優勝 清田 真弘〔(株)司工事〕
準優勝 福山 和弘〔日宝工業(株)〕
ハイゲーム賞 鶴川 和臣〔(株)ヨコレイ〕

◎平成20年度後期ゴルフ大会

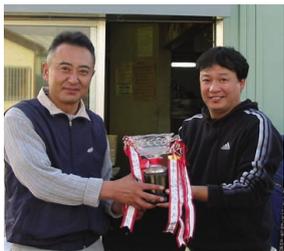


渉外委員会主催の後期ゴルフ大会が、平成20年10月17日(金)に横浜カントリークラブにおいて35名が参加して行われました。上位入賞者は次のとおりです。

優勝 後藤 守利氏
〔カナレイ(株)〕

優勝・ベストグロス賞
後藤 守利〔カナレイ(株)〕
準優勝 有井 清〔(株)ヨコレイ〕

◎平成20年度釣大会



渉外委員会主催の釣大会が平成20年11月5日(水)に金沢漁港「三春丸」において11名が参加して行われました。成績は次のとおりです。

優勝 小畑 徹氏
〔ダイダン(株)〕

優勝 小畑 徹〔ダイダン(株)〕
準優勝・大物賞
新井 貴洋〔三建設備工業(株)〕

新会員紹介

《正会員》

◎新入会員

- ・ 共栄産業株式会社 (平成20年11月入会)
〒233-0007
横浜市港南区大久保2-8-22
代表取締役 漆原 幹雄
TEL 045-843-1006
FAX 045-843-3451



会員消息

《正会員》

◎社名変更

- ・東京ガスエネワーク株式会社 (変更日 平成20年10月)
新 東京ガスエネワーク株式会社
旧 株式会社太陽設備

◎代表者変更

- ・齋久工業株式会社 (変更日 平成20年7月)
新 代表取締役社長 齋藤 久章
旧 代表取締役社長 岩田 義紀
- ・三建設備工業株式会社 (変更日 平成20年6月)
新 取締役社長 松井 栄一
旧 取締役社長 寺本 明男
- ・新日本空調株式会社 (変更日 平成20年4月)
新 代表取締役社長 岡本 隆裕
旧 代表取締役社長 岩崎 彰宏
- ・東洋熱工業株式会社 (変更日 平成20年6月)
新 代表取締役 太田 勝志
旧 代表取締役 野末 尚
- ・株式会社渡辺管工業 (変更日 平成20年8月)
新 代表取締役 渡辺 友大
旧 代表取締役 渡辺 晃祥

◎本社所在地変更

- ・株式会社テクノ菱和 (変更日 平成20年7月)
新 〒107-0062 東京都港区赤坂8-5-41
旧 〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-26-20
- ・株式会社西原衛生工業所 (変更日 平成20年7月)
新 〒105-0013 東京都港区浜松町2-8-14
旧 〒108-0023 東京都港区芝浦3-6-18

◎事業所所在地変更

- ・株式会社清田工業 神奈川営業所 (変更日 平成20年10月)
新 〒240-0023
横浜市保土ヶ谷区岩井町87 (サンポートビル1階)
Tel 045-730-6391 Fax 045-715-4611
旧 〒220-0051
横浜市西区中央2-50-19 (梅澤ビル)
Tel 045-317-6701 Fax 045-317-6703

《賛助会員》

◎社名・代表者変更

- ・株式会社ブリヂストン I B K 横浜営業所
社名変更 (変更日 平成20年7月)
新 株式会社ブリヂストン I B K 横浜営業所
旧 株式会社ブリヂストン T K K 横浜営業所

代表者変更 (変更日 平成20年5月)

- 新 横浜営業所長 稲葉 徹
旧 横浜営業所長 阿部 茂

◎代表者・事業所名・事業所所在地変更

- ・株式会社金門製作所 東京支店 (変更日 平成20年10月)
代表者変更

- 新 支店長 本間 誠二
旧 支店長 海老原 洋

事業所名変更

- 新 東京支店
旧 神奈川支店

事業所所在地

- 新 〒113-0023 東京都文京区向丘2-3-6
Tel 03-3830-3723 Fax 03-3830-3707
旧 〒227-0066 横浜市青葉区あかね台2-3-3
Tel 045-985-1251 Fax 045-985-0231

◎代表者・事業所名変更

- ・三洋電機販売株式会社 東京支社 地区営業部
神奈川営業所 (変更日 平成20年4月)

代表者変更

- 新 所長 大森 一男
旧 所長代理 山本 善三

事業所名変更

- 新 東京支社 地区営業部 神奈川営業所
旧 東京支社 神奈川営業部 神奈川第二営業所

- ・新晃工業株式会社 東京支店 (変更日 平成20年6月)

代表者変更

- 新 支店長 末永 聡
旧 代表取締役社長 藤井 浩

事業所変更

- 新 新晃工業株式会社 東京支店
旧 新晃工業株式会社

◎代表者変更

- ・ジョンソンコントロールズ株式会社 関東支店
(変更日 平成20年10月)

- 新 支店長 松永 忠夫
旧 支店長 安達 良和

- ・積水アクアシテム株式会社 横浜営業所

(変更日 平成20年4月)

- 新 所長 三川 信男
旧 所長 橋 克昭

・富士機材株式会社 神奈川支店 (変更日 平成20年4月)
新 支店長 唐沢 敏史
旧 支店長 池田 和基

・三菱樹脂株式会社 関東支社 (変更日 平成20年7月)
新 設備機器営業部部長 飯田 由久
旧 設備機器営業部部長 土田 仁教

◎代表者（役職名）変更

・荏原実業株式会社 (変更日 平成20年10月)
新 専務取締役 佐藤 善伸
旧 常務取締役 佐藤 善伸

◎事業所名・事業所所在地変更

・積水化学工業株式会社 環境・ライフラインカンパニー
東日本支店 横浜営業所 (変更日 平成20年7月)

事業所名変更

新 東日本支店 横浜営業所
旧 東京支店 横浜営業所

事業所所在地変更

新 〒220-0033
横浜市港北区新横浜3-6-12 (日総第12ビル4階)
Tel 045-474-1810 Fax 045-474-1811
旧 〒220-0004
横浜市西区北幸1-4-1 (天理ビル11階)
Tel 045-331-6661 Fax 045-331-6612

編集後記

紅葉も見ごろが過ぎ、落ち葉とともに寒い木枯らしが吹き付け、いよいよ冬の訪れを感じる季節になりました。気がつけば年末まではや一ヶ月を切り、もうこの1年を振り返る時期になったかと思うと時の移ろいの早さに驚くばかりです。

昨年に引き続き、日替わりメニューのように次々と発覚する食品偽装問題、各地で被害が相次いだゲリラ豪雨、消えた年金問題、サブプライム問題に端を発したアメリカの金融機関の経営破たん、政局の先行き不透明感など、世の中の不安感をあおる出来事ばかりが連日報道されていたように思います。

特に原油、鉄鋼などの建設資材の価格高騰は収益を圧迫し、私たち建設業を取り巻く環境は、以前に増してより一層厳しさを感じる1年でした。

しかし、ここが底辺だと信じて来年こそは暗闇に光が射すような良い年であると願いたいものです。 (S.S)



『安全』ポスター(2種類)を正会員各位に配付しました。(安全委員会)

直結給水ブースタポンプ

(社)日本水道協会認証

PURE FRESSURE

[ピュアフレッシャー]



● 管端コア内蔵形バルブ標準装備 (吸込・吐出し側)

飲料水のより高い安全性と、配管の耐久性に配慮しました。
※口径75mmはフランジ接続

● ステンレス製キャビネット

ステンレス製キャビネットを標準で採用しました。

● ACリアクトル標準装備

高調波を抑制するとともに、力率を改善します。

● 高性能

ステンレス製多段渦巻ポンプMVFA型を搭載。
高効率で、省エネルギーを推進します。

キャビネットタイプは **B O B** [ボブ] と **R・a・c・s・e** [ラクッセ] におまかせください。
小規模ビル用・コンパクト形 中・大規模ビル用・大水量形



荏原テクノサーブ株式会社

<http://www.et.ebara.com/>

神奈川支店 〒222-0033 横浜市港北区新横浜1-9-1
厚木営業所 〒243-0034 厚木市船子142
湘南営業所 〒251-8502 藤沢市本藤沢4-2-1 (株)荏原製作所P0棟
相模原営業所 〒229-0006 相模原市洲野辺3-20-15

☎ (045) 472-0611
☎ (046) 229-6011
☎ (0466) 83-7300
☎ (042) 730-6131

TOTO

衛生陶器並附属金具
各種水栓金具
洗面化粧台・浴槽
給湯機
受水槽・高架水槽
システムキッチン設計施工
ユニットバスルーム設計施工

創業明治29年・TOTO(株)特約店

丹羽窯業株式会社

本社・横浜営業所
横浜市中区日ノ出町1-103 045(241)5321
東京営業所
東京都台東区台東1-27-7 03(3822)0267
目黒営業所
東京都目黒区南3-15-4 03(3718)4135
湘南営業所
藤沢市善行6-19-1 0466(82)6120
さがみ営業所
相模原市上溝2370-6 042(764)7177

新しい、
時代のために

kanzai

管工機材・住宅・ビル設備機器・プラント機材・国内外総合商社

日本管機センター株式会社

本社：〒104-8401 東京都中央区八丁堀2-23-1 エンバイヤビル TEL 03(5541)5111(大代表) FAX 03-5541-5115
配送センター：〒136-0082 東京都江東区新木場3-2-4 TEL 03(3522)1261(代表) FAX 03-3522-1265

HOCHIKI

防災・防犯・通信技術で
社会や環境を守る
「安心の総合防災企業」、
ホーチキ。



平成18年6月1日から、新築住宅には
「住宅用火災警報器」を設置しなくてはなりません。

住宅火災で最も多い原因は「逃げ遅れ」によるもので、その死者数の割合は全体の約6割を占めます。
住宅用火災警報器はその「逃げ遅れ」の予防策として、火災を早期に見つけて音でお知らせします。

■ 本社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2丁目10番43号
TEL. 03 (3444) 4111

■ 横浜支店

〒221-8660 横浜市神奈川区栄町5番地1 横浜クリエイションスクエア8階
TEL. 045 (451) 3380

■ 川崎営業所

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町15-5 十五番館ビル11階
TEL. 044 (246) 4840

 **ホーチキ株式会社**

azbil

グループ

創業1906年 山武の進化
人を中心としたオートメーション

山武は「計測と制御」の技術をもとに、建物や環境にかかわる省エネルギー・省力・快適・安全・利便性を追求し、企画・開発から販売・サービスまでの一貫体制を確立。建物経営をバックアップする最適なソリューションをご提供しています。

建物から社会へ、地球環境へ



株式会社 山武
ビルシステムカンパニー 横浜支店

〒220-8144 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマークタワー
TEL.045-224-1550 <http://jp.azbil.com>

azbilは山武グループのシンボルマークです。



Marketing
Planning
Creative
Printing


best *sight*
communication
株式会社 D-サイト

マーケティング・企画・制作・印刷

〒221-0013 横浜市神奈川区新子安1丁目35番10号
TEL.045-439-3433 (代) 担当:吉川 FAX.045-402-8462
TEL.045-439-3451 (制作部)

会 報

第102号 平成20年11月30日

社団法人 **神奈川県空調衛生工業会**

横浜市中区海岸通4丁目18番地

TEL 045 (201) 9536 (代)

U R L:<http://www.shinkuei.or.jp>

E-mail:info@shinkuei.or.jp

情報委員会

印刷 株式会社 D-サイト